

平成29年度和歌山県学習到達度調査結果の概要

1 調査の概要

- (1) 調査日 平成29年10月18日(水)
- (2) 調査の目的
児童生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、個に応じた指導を充実させ、学習指導要領に示された学習内容の定着を図る。
- (3) 調査内容
- ①調査教科
小学校調査の第4学年は国語・算数、第5学年は国語・算数・理科
中学校調査の第1学年は国語・数学、第2学年は国語・数学・理科
- ②調査を実施した学校、児童生徒
- ア 小学校調査
公立の小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年
- イ 中学校調査
公立の中学校第1・2学年、義務教育学校後期課程第1・2学年、特別支援学校中学部第1・2学年

	学校数	学年	児童生徒数		
			国語	算数・数学	理科
小学校 (小学部)	239校	第4学年	7,581人	7,582人	—
		第5学年	7,537人	7,532人	7,539人
中学校 (中学部)	124校	第1学年	7,034人	7,039人	—
		第2学年	7,353人	7,339人	7,354人

和歌山県学習到達度調査の意義

調査を生かして学力の充実！

児童・生徒

学校・教員

県教委

力を試す

採点・結果分析

授業に生かす

- ・ 個々の児童生徒の学力の定着状況を把握
- ・ 授業の工夫・改善
- ・ 個に応じた指導を充実

集計・分析

個人票

- ・ 補充学習等で課題の克服
- ・ 家庭学習の充実

○漢字を読むことに関する問題については、相当数の児童ができていますが、説明的な文章、文学的な文章を解釈することや自分の考えをまとめて表現することに課題がある。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られた問題

【第4学年】

□漢字の読みについては、相当数の児童ができています。

[1] (1)①正答率 95.5% 無解答率 0.8% ②正答率 95.9% 無解答率 0.9%]

■文学的な文章の解釈において、目的に応じて文章を読み、文章を引用して自分の考えをまとめること等に課題がある。

[4] (1)正答率 42.7% 無解答率 22.8%]

【第5学年】

□漢字の読みについては、相当数の児童ができています。

[1] (1)②正答率 98.2% 無解答率 0.3% ④正答率 93.4% 無解答率 0.5%]

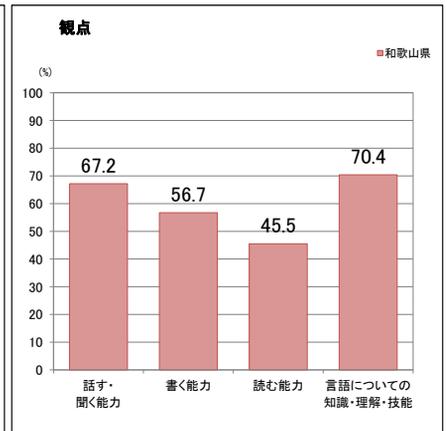
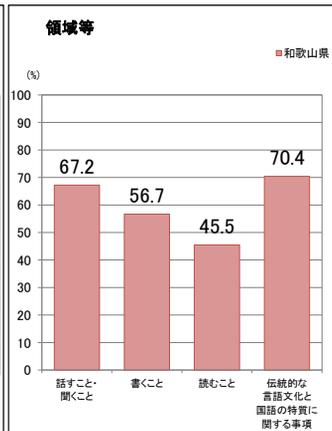
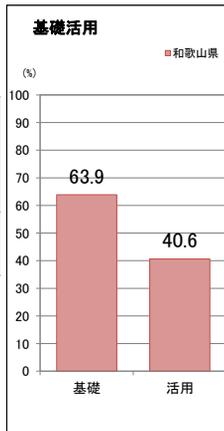
■文学的な文章の解釈において、すぐれた表現について自分の考えをまとめること等に課題がある。

[4] (2)正答率 27.7% 無解答率 11.2%]

正答率の比較

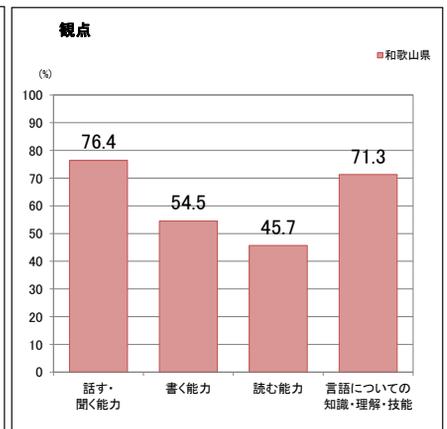
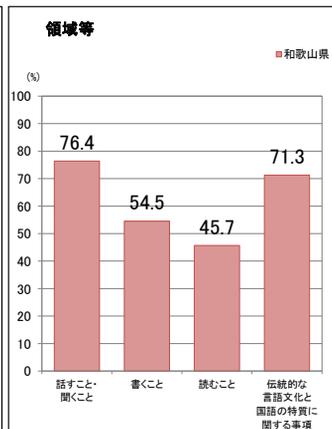
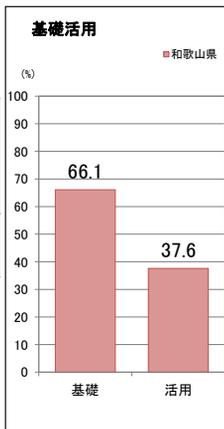
第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
60.4	9.4



第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
61.9	2.4



小学校算数

○四則計算等，基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については，相当数の児童ができていますが，言葉や図・数・式などを関連付ける問題や考え方を説明する問題等に課題がある。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られた問題

【第4学年】

- 小数の加法，減法の計算は，相当数の児童ができています。
 [1] (5)正答率 98.5% 無解答率 0.1% (6)正答率 89.2% 無解答率 0.4%]
- 公園までの残りの道のりを，図を参考にして考えることに課題がある。
 [7] (2)正答率 48.9% 無解答率 3.1%]

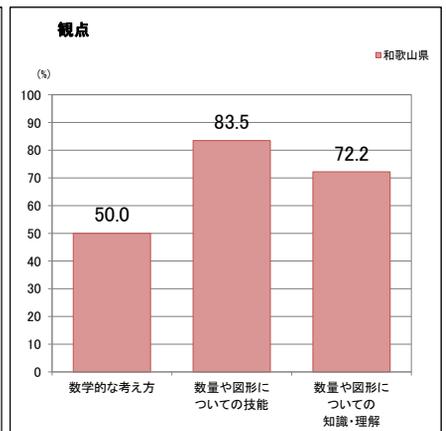
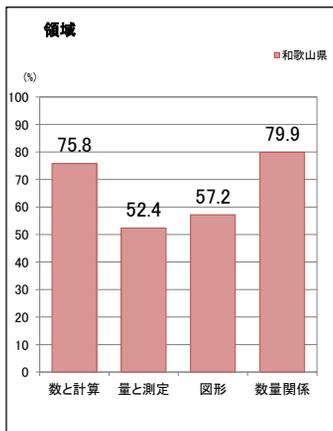
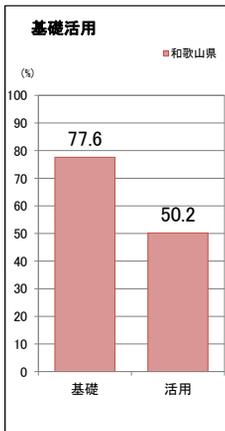
【第5学年】

- 小数の乗法，除法の計算は，相当数の児童ができています。
 [1] (1)正答率 96.4% 無解答率 0.1% (2)正答率 85.8% 無解答率 0.3%]
- 2つの数量の関係を表す図をかくことに課題がある。
 [11] (1)正答率 33.2% 無解答率 4.2%]

正答率の比較

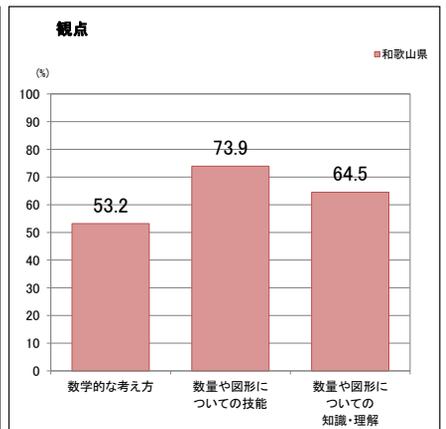
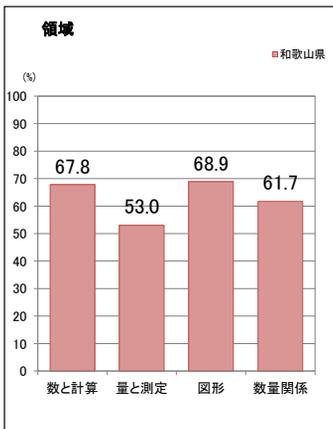
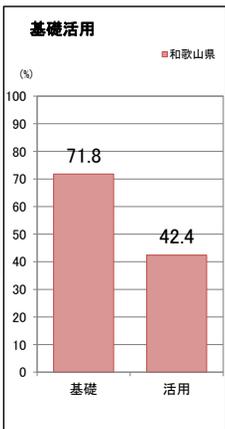
第4学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
71.2	2.2



第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
65.9	3.3



中学校国語

○物語の流れや論の展開に注意して読む問題については、概ねできている。一方、作者の表現の工夫とその意図を捉え、説明することに課題がある。また、付属語をはじめとする言葉のきまりに関する事項等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第1学年】

□ 言葉を手掛かりにして文脈をたどることについては、相当数の生徒ができている。

[③] (1) 正答率 86.6% 無解答率 0.2%

■ 表現の特徴を捉えて読み、その工夫について説明することに課題がある。

[③] (5) ① 正答率 19.1% 無解答率 14.4%

【第2学年】

□ 文相互の関係や論の展開に注意して読むことについては、概ねできている。

[③] (1) 正答率 73.7% 無解答率 1.2%

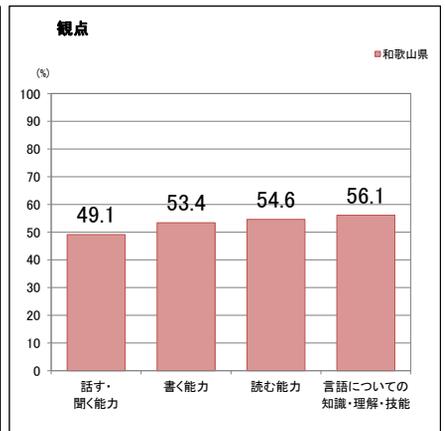
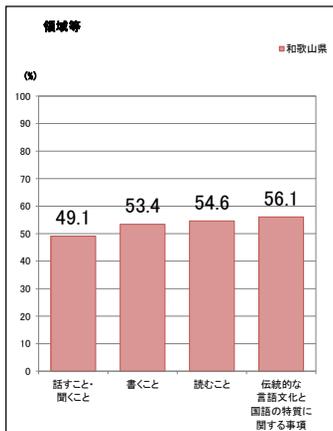
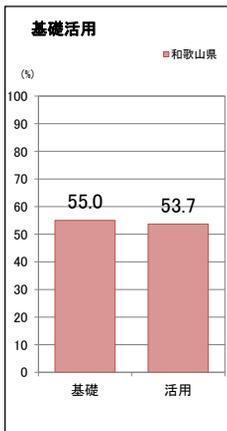
■ 付属語の理解について、課題がある。

[①] (4) 正答率 13.2% 無解答率 7.2%

正答率の比較

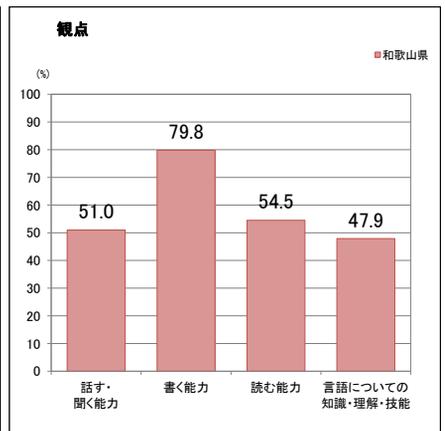
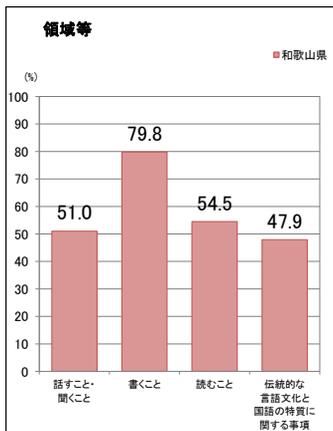
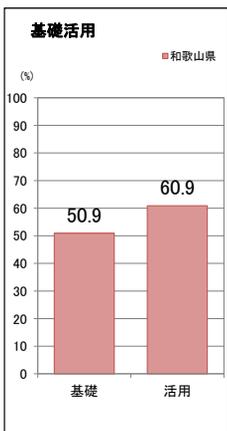
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
54.7	4.3



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
53.4	7.4



中学校数学

○四則計算等，基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については，相当数の生徒ができていますが，事柄が成り立つ理由を説明する問題，具体的な事象において，2つの数量の関係を考察する問題等に課題がある。

□正答率が高かった問題 ■課題が見られた問題

【第1学年】

□正の数，負の数の計算については，相当数の生徒ができています。

〔6〕(2)①正答率 89.9% 無解答率 1.0%〕

■事象と式の対応を的確に捉え，事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

〔9〕(3)正答率 57.3% 無解答率 15.1%〕

【第2学年】

□整式の計算については，相当数の生徒ができています。

〔5〕(1)①正答率 85.5% 無解答率 2.6%〕

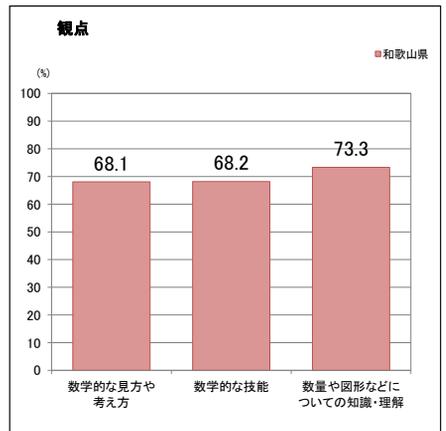
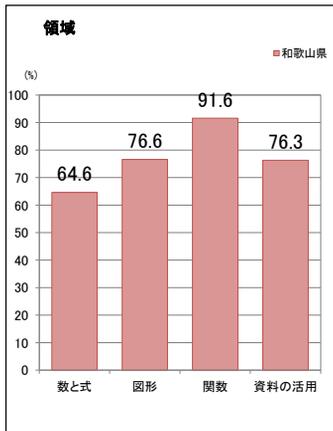
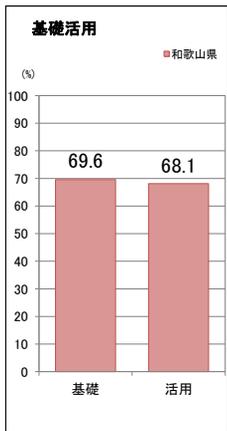
■具体的な事象において，2つの数量の関係を考察することに課題がある。

〔3〕(1)正答率 25.2% 無解答率 2.2%〕

正答率の比較

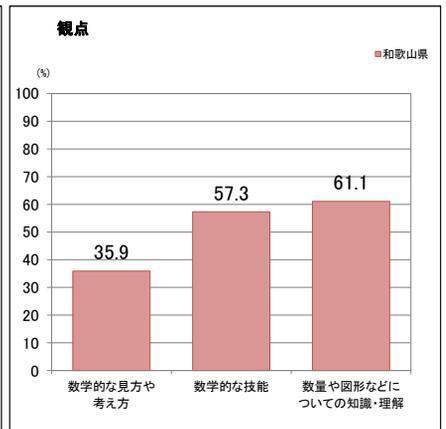
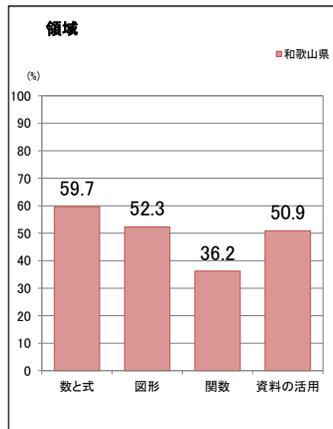
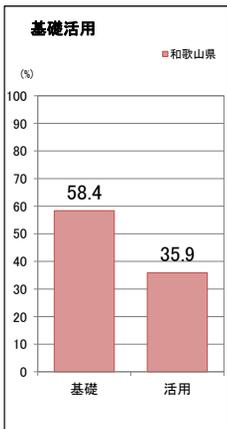
第1学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
69.2	3.7



第2学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
53.9	8.5



小学校理科

○光電池に当たる光の強さと回路を流れる電流の強さを関係付けて考える問題等については、相当数の児童ができているが、温度による金属の体積変化について理解すること等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第5学年】

□ 光電池に当たる光の強さと、回路を流れる電流の強さを関係付けて考えることについては、相当数の児童ができている。

[1] (3) 正答率 97.1% 無解答率 0.4%

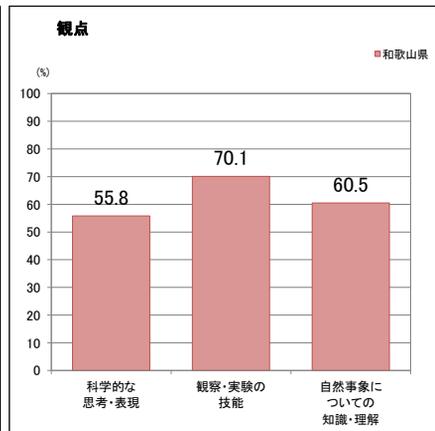
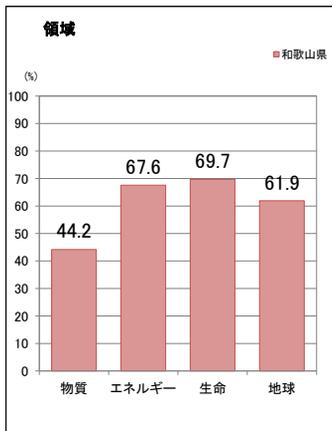
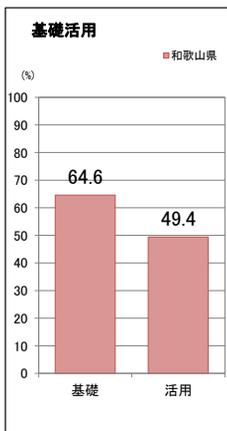
■ 温度による金属の体積変化を説明することに課題がある。

[4] 正答率 21.7% 無解答率 1.2%

正答率の比較

第5学年

平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
60.0	2.1



中学校理科

○種をつくる植物の仲間の名称を表す問題については、相当数の生徒ができていますが、圧力を求める式を使って、その値を求めること等に課題がある。

□ 正答率が高かった問題 ■ 課題が見られた問題

【第2学年】

□ 種をつくる植物の仲間の名称を表すことについては、相当数の生徒ができています。

[1] (1) 正答率 88.6% 無解答率 3.9%

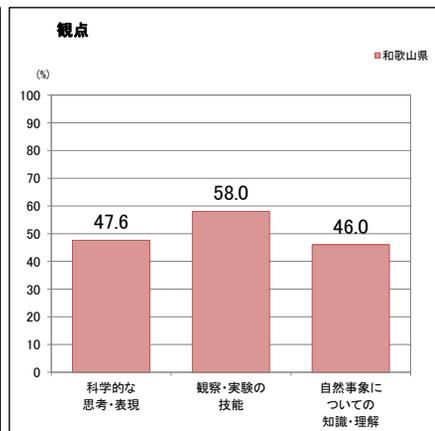
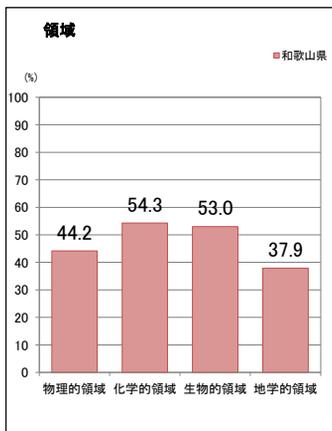
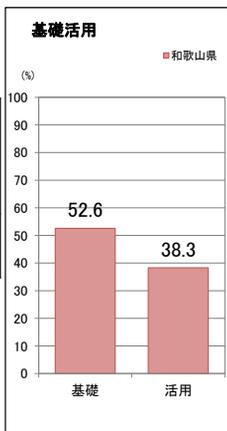
■ 圧力を求める式を使って、その値を求めることに課題がある。

[3] (2) 正答率 24.7% 無解答率 25.2%

正答率の比較

第2学年

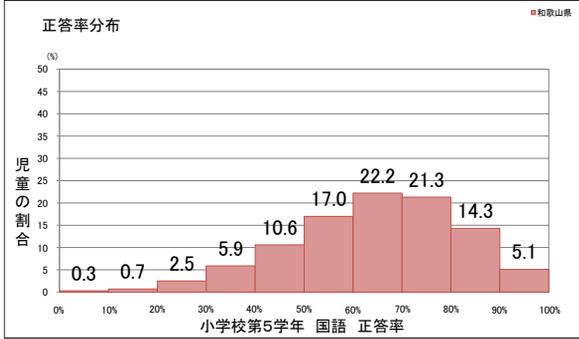
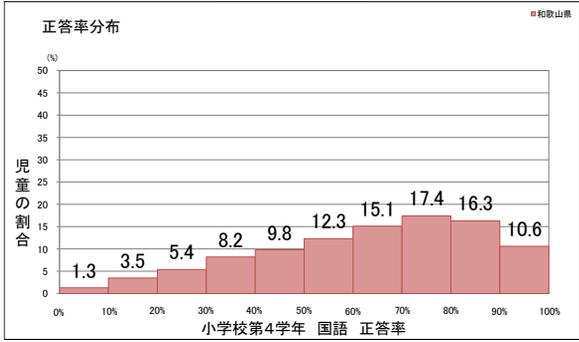
平均 正答率 (%)	平均 無解答率 (%)
49.0	7.5



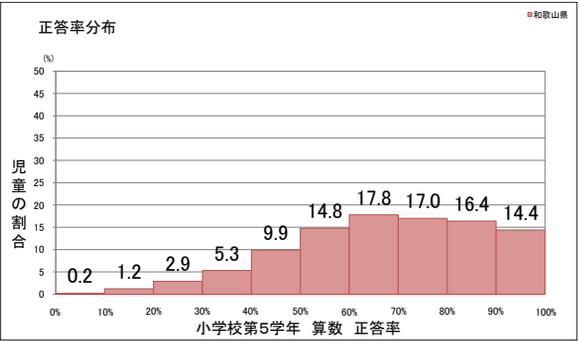
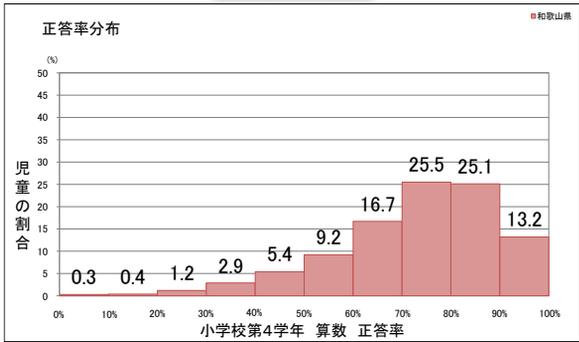
3 各教科の平均正答率の分布グラフ

小学校

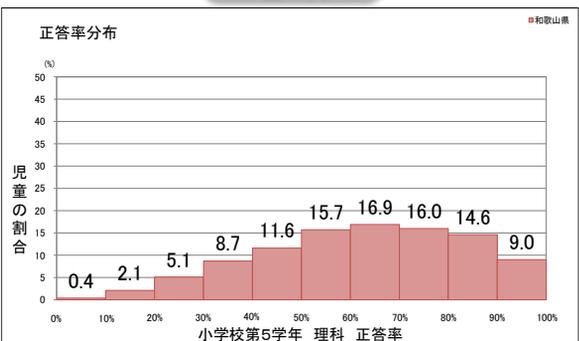
国語



算数

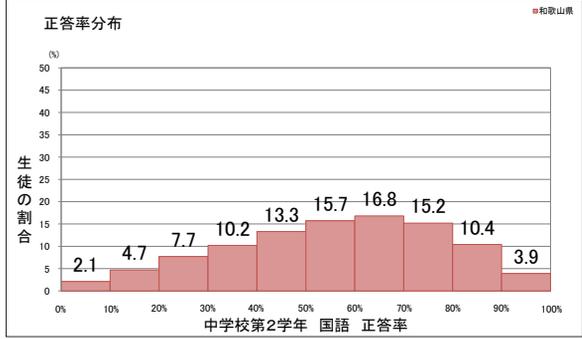
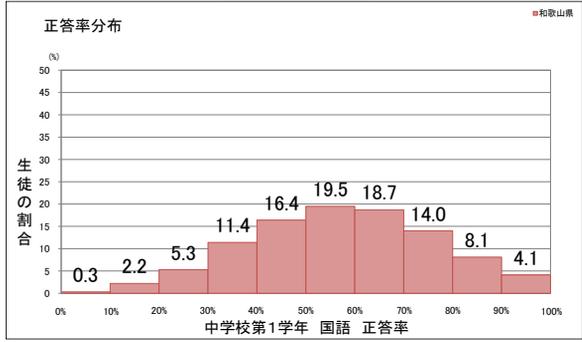


理科

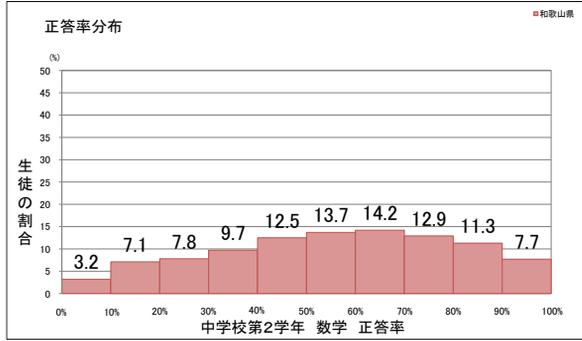
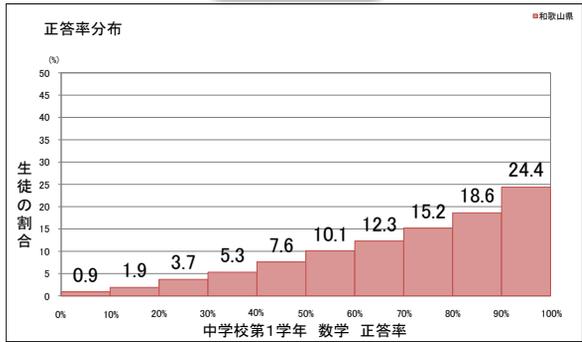


中学校

国語



数学



理科

